

長崎大学白熱チーム

始動!



Nagasaki University
Exciting Students

「高校生じゃないんだから自分らで」

米戦略国際問題研究所のマイケル・グリーン氏。陸上競技の世界選手権メダリスト為末大氏。日本アイ・ビー・エムの北城恪太郎氏。日本マクドナルドの原田幸孝氏。政策研究大学院大学の黒川清氏。そしてリレー講座の一回目を監修し二回目、三回目とご登壇いただいている日本総合研究所の寺島実郎氏。各分野の第一人者の講演とディスカッションで日本の今後のあり方を模索する「長崎大学リレー講座」も、すっかり定着しました。

今回はこれにもう一つ、新たな動きがありました。学生たちがゲストを囲みトークセッションを行ったのです。それも、学生自らが片峰学長に直訴して、自分たちで企画運営したものです。彼らの熱い想いを受け止め、ゲストの方々も快くお引き受けいただきました。

この始まりは昨年一月に行われたNHKの「白熱教室in長崎」。人気企画が長文教養番組として行われたのです。しかし結果は「白熱」というより、「微熱?」。三カ月後、今度は長大高村昇教授による公開討論会が開かれます。その後、この討論会に参加した学生たちは、一つのチームを旗揚げします。その名も「白熱教室プロジェクト」。

リーダーの江島健一さん(医学部)は語ります。「白熱教室が行われるとき、大学側は集客も内容も不安だったらしく各学部から数人ずつ呼んで学長がハッパをかけていたようです。でも本番では不完全燃焼に終わってしまっただけ。参加した学生たちは、もっと議論を深められたのに、と相当な危機感を持ちました。そして高村先生の討論会。終わって、やっぱりこれは継続的な何かを、大学側じゃなくて自分たちでやらないとダメだ、高校じゃないんだから」という声があが

り、プロジェクトを立ち上げました。学長も応援すると言ってくれました。

とはいももの、まずは人集めで三カ月経過。「有名人を呼んで単発イベントをやるうと思えばできたかもしれない。でもそれは継続じゃない。そこで、大学内でリレーシップをとっている学生に声をかけ、小規模な勉強会を行って、そこからちょっとずつ広げていきました」。

こだわっていたのは継続性。「継続性のない変革ってあつという間に消えちゃうでしょう? 自分自身、医学部で学びながら医療を変えたいな、と思つています。でもすごくハードルが高い。ならば少しずつ同じ世代の人たちと接しながら思いを共有していく。みんなが変化を望んでいれば、僕らが臨床をやりたいときにボトムアップで変えられるかもしれない。何かを変えようと思つたら、やっぱり継続性。細くても長く続けていく、それも既得権益のない学生のうちに、と考えました」。

討論会や勉強会を通して、ファシリテーターのやり方や議論を盛り上げる手順など、手探りながら少しずつ見えてきたような。そんな折、秋からのリレー講座の開催を知りました。

「へえ、すごい人たちが来るんだ! ああいう人って少し早めに入るから、そのとき学生と話したりできないかな」と。最初はアイデアだけでもゲストの顔ぶれを見るほどに、これは実現できたらすごい。それで学長にお会いしたときに、思い切つて切り出したんです。まあ、あの:若干無理やり感がありました(笑)。

結果、学長からGOサイン! それまでの地道な努力が功を奏したといえます。「メンバーはみんなそこそこ物を言う人たち。まずは担当の回をそれぞれ充てて好きにやってみようということに。誰だって雑用はやりたくない。好きにやっついていいというチャンスが欲しいんです。そのためのバックアップを組織で行います」。

各自ターゲットを絞って、著書を読むなど下調べが始まります。

「初回は講演後のセッションなので、講演後に『学生残つて』と呼びかけてもらう」。「どのくらい来るか数次第だけど、舞台に全部上げる? 舞台と客席に分けるか?」そんなこんなで、いよいよ初回スタート。

※「白熱教室」とは、アメリカハーバード大学のマイケル・サンデル教授が始めた討論型講義。数年前NHKが取り上げ放送。あるテーマにおいて、多様な考えの学生が意見を交わし議論を深めて理解しあう、その白熱したようすが視聴者の大きな反響をよびました。その後コロンビア大編や東大編など、シリーズで放送。今回の「白熱教室in長崎」では元NHK解説委員の小出五郎氏を迎えての討論でした。

世界で活躍できる人材ってなんだろう
どうしたら議論を沸騰させられるの?



写真は右から許嘉仁さん(経済学部)、リーダーの江島さん、日隈恭太郎さん(工学部)、桐山智大さん(経済学部)。

プロジェクトメンバーはそれぞれ学業にバイトに大忙し。そこでSNS(インターネット上のネットワークサービス)の一つ、facebookを利用してコミュニケーションを図っています。その生き生きとしたやりとりを一部抜粋してみました。



10月12日 ハイライト

お疲れ様です。報告です。Chohoっていう長崎大学の雑誌知ってますか? あの1月号の編集会議がさっきあって、参加していいよってことで顔を出してきたんですが、リレー講座で学生ディスカッションする件を話したところ、他のメイン特集まで決まっていたんですが、変更して、[リレー講座×学生]みたいな特集ということになりました。メリットが大きいと思ったので、記事にしてもらうことをお願いしました。(青木)

うお~♡♡♡♡激アツやねっ♡♡♡♡やりたいやりたいやりたい~♡♡♡♡やっぱりバイト休んででもくればよかった~(;;)!!! (藤田)

あと経済学部のPALLETの人間も何人かこの企画に興味を持っています。次の会議に何人が参加させても大丈夫ですか? (青木)

今回のmissionの走り始めなので、いいと思いますよ、ゴールを共有しましょう。ちょっと白熱PJの皆さんには未だ全貌を明らかにしてなくて、飛躍感がありますが、じわじわよりも、僕らが感じた喜びを感じてもらいたいです(^.^) (江島)

10月29~30日 (第1回を終えて)

ある程度の意思共有のためにフリップとか面白いんじゃないか。テレビ番組的だけどみんなの意見が見られるし。ザテレビっ子の考え(▽▽)笑 (桐山)

フリップ面白いかも!! ^^ てれびっこ最高ww (藤田)

テレビっ子ばんざーい(▽▽) (桐山)

集まった人も拳手も多かった。内容はともかく、これからもっと面白くなるだろうとわくわくしました! (岩本)

つか、白熱させた-----い!!!!!! PALLETメンバーは熱いので、白熱メンバーよろしくお願ひします! (青木)

私、北城さんの回やります。経済学部の別のイベントとかぶってるんだけど、希少性という意味でこちを優先させようかと。(田平)

杓-----(^▽^)-!! (江島)